

防災まちづくり懇談会ニュース

令和元年12月発行

第4回「防災まちづくり懇談会」を開催しました！

第4回「防災まちづくり懇談会」概要

日時：令和元年11月13日(水) 18:30~19:40

場所：小田子ども文化センター 集会室(2階)

- 内容：① 前回の「防災まちづくり懇談会」のふり返り
② 地域の将来に向けた身近なまちづくりについて
③ 質疑応答
④ 防災空地1号のイベントの実施結果の報告

参加者：小田地区町内会連合会・小田1丁目町会より22名



当日の様子

まず、ニュースを見ながら、前回の懇談会の内容をおさらいしました。

前回の懇談会のふり返りとして、『防災まちづくり懇談会ニュース(第3号)』の内容を見ながら、「まち歩き」の結果などから分かった建物や道、空地などの課題、意見交換会で話し合われた「課題解決の方法」や「小田地区の将来像」について出された意見などをおさらいしました。

【前回の懇談会で発表された主な意見】

- ・将来について考えるのであれば若い人とも議論を行いたい。
- ・小田踏切の課題解決や駅前広場が必要ではないか。
- ・小田3丁目を中心に浸水被害があるので改善が必要である。
- ・敷地分割されないように最低敷地のようなルールは必要だ。
- ・狭い道を拡幅していく手法で、壁面後退が有効ではないか。



次に、身近なまちづくりにおける目標のイメージについて確認しました。

小田周辺地区の防災まちづくりの推進に関して支援をいただいているUR都市機構の密集市街地対策の専門家から、身近なまちづくりの目標のイメージについて説明を受けました。

今まで話し合ってきた地域の課題を、「こういうまちにしたい！」という目標に変えてみる。



最近、建て替えが増えて建物密集してきたなあ



災害時にはどうやって逃げればいいのか

地域の中の困りごとや気になること



大きな地震がくるとブロック塀が倒れるかも



ご近所同士でルールが作れるといいね



例えば、こんな目標に！



災害に備えたまちにしたい!



良好な住環境を保ちたい!

続いて、目標を実現するまちづくりルールのイメージについて確認しました。

地域の課題やまちづくりの目標に応じてルールづくりができる内容やこれからの取り組みのイメージについて説明を受けました。

例えば、建物の用途



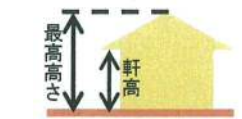
例えば、敷地の大きさ



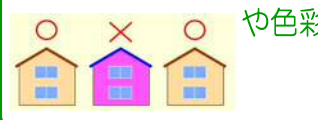
例えば、壁面の位置



例えば、建物の高さ



例えば、建物のデザインや色彩



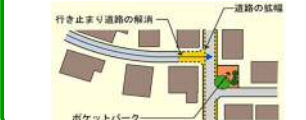
例えば、塀の種類や高さ



例えば、緑化の割合



例えば、道路・公園など



これからの取り組みのイメージ

まずは、**地域のまちづくりの目標や目指すべき将来像について、地域の皆さんでイメージを膨らませることが大切。**



その上で、**未来に期待を持てる将来像のイメージを共有しながら、どんなルールをつくるのかを明確にすることが大切。**

参加者の皆さんからは、こんなご意見・ご要望をいただきました。

【質疑応答では】

- ・皆がどんな問題意識を持っているのかをしっかりと把握することが重要である。現在の環境に満足して住み続けたいと思っている住民は多い。
- ・百年たってもできるかどうか分からないものを提案されても、皆には伝わらない。理想論よりも現実を直視し、そこから始めるのが良い。
- ・今後の懇談会については、将来について話をしたいメンバーを募集することも考えた方が良さそう。

【アンケートでは】

- ・防災上の課題があるので、当面解決すべき密集改善に的を絞って進めて欲しい。
- ・ルールづくりと身近な解決すべきことを並行して取り組むことが重要である。
- ・机上の空論にならないように、専門知識を持った人が方向性を示して欲しい。
- ・若い人たちの意見も大切だが、今の土地所有者が変えていく必要がある。

防災空地1号のイベント「小田らんたん横丁」の実施結果について

～防災空地を活用した地域のつながりづくりとコミュニティ活性化につながるイベントを実施しました～

主催：小田三丁目町内会（協力：川崎市「まちのひろば」創出職員プロジェクトチーム）

日時：令和元年10月26日(土) 10時~12時

会場：小田三丁目防災空地（小田3-9-8）

内容：今後の防災空地の活用アイデアを募るオープンワークショップと、昔の遊び体験や出張駄菓子屋台等の多世代で楽しめるブースの出展



当日の様子(約100人が参加)

防災まちづくり懇談会に少しでもご興味のある方は、お近くの町会関係者へお問い合わせ頂くか、下記の連絡先までご連絡頂ければと思います！